

OECD 生徒の学習到達度調査2018年調査(PISA2018)のポイント

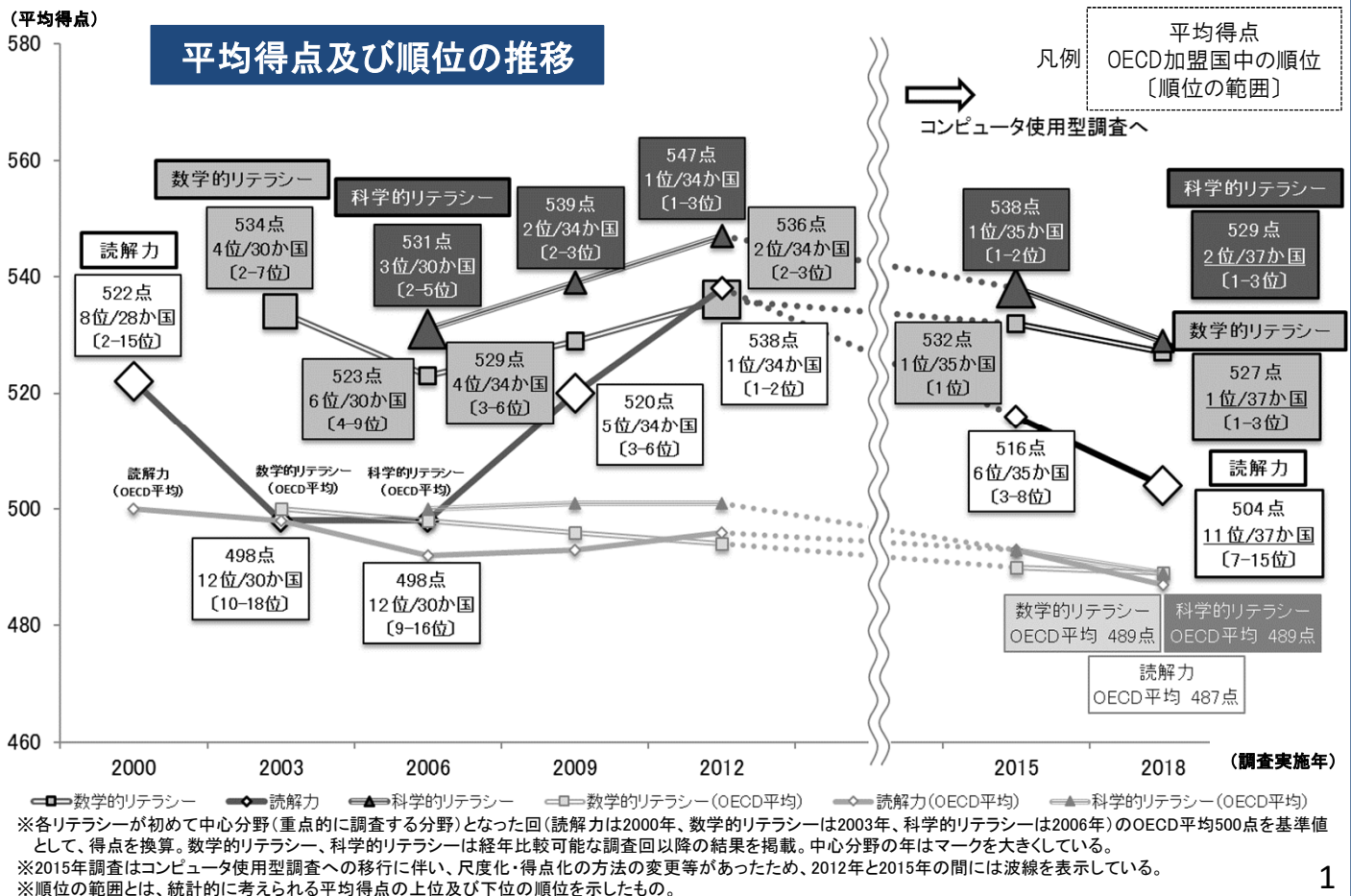
結果概要

<PISA2018について>

OECD(経済協力開発機構)の生徒の学習到達度調査(PISA)は、義務教育修了段階の15歳児を対象に、2000年から3年ごとに、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野で実施(2018年調査は読解力が中心分野)。平均得点は経年比較可能な設計。前回2015年調査からコンピュータ使用型調査に移行。日本は、高校1年相当学年が対象で、2018年調査は、同年6~8月に実施。


<日本の結果>

- 三分野**
 - ◆ 数学的リテラシー及び科学的リテラシーは、引き続き世界トップレベル。調査開始以降の長期トレンドとしても、安定的に世界トップレベルを維持しているとOECDが分析。
 - ◆ 読解力は、OECD平均より高得点のグループに位置するが、前回より平均得点・順位が統計的に有意に低下。長期トレンドとしては、統計的に有意な変化が見られない「平坦」タイプとOECDが分析。
- 読解力**
 - ◆ 読解力の問題で、日本の生徒の正答率が比較的低かった問題には、テキストから情報を探し出す問題や、テキストの質と信ぴょう性を評価する問題などがあつた。
 - ◆ 読解力の自由記述形式の問題において、自分の考えを他者に伝えるように根拠を示して説明することに、引き続き、課題がある。
 - ◆ 生徒質問調査から、日本の生徒は「読書は、大好きな趣味の一つだ」と答える生徒の割合がOECD平均より高いなど、読書を肯定的にとらえる傾向がある。また、こうした生徒ほど読解力の得点が高い傾向にある。
- 質問調査**
 - ◆ 社会経済文化的背景の水準が低い生徒群ほど、習熟度レベルの低い生徒の割合が多い傾向は、他のOECD加盟国と同様に見られた。
 - ◆ 生徒のICTの活用状況については、日本は、学校の授業での利用時間が短い。また、学校外では多様な用途で利用しているものの、チャットやゲームに偏っている傾向がある。




1. 2018年調査の結果

● OECD加盟国(37か国)における比較

 は日本の平均得点と統計的な有意差がない国

	読解力	平均得点	数学的リテラシー	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	エストニア	523	日本	527	エストニア	530
2	カナダ	520	韓国	526	日本	529
3	フィンランド	520	エストニア	523	フィンランド	522
4	アイルランド	518	オランダ	519	韓国	519
5	韓国	514	ポーランド	516	カナダ	518
6	ポーランド	512	スイス	515	ポーランド	511
7	スウェーデン	506	カナダ	512	ニュージーランド	508
8	ニュージーランド	506	デンマーク	509	スロベニア	507
9	アメリカ	505	スロベニア	509	イギリス	505
10	イギリス	504	ベルギー	508	オランダ	503
11	日本	504	フィンランド	507	ドイツ	503
12	オーストラリア	503	スウェーデン	502	オーストラリア	503
13	デンマーク	501	イギリス	502	アメリカ	502
14	ノルウェー	499	ノルウェー	501	スウェーデン	499
15	ドイツ	498	ドイツ	500	ベルギー	499
16	スロベニア	495	アイルランド	500	チェコ	497
17	ベルギー	493	チェコ	499	アイルランド	496
18	フランス	493	オーストリア	499	スイス	495
19	ポルトガル	492	ラトビア	496	フランス	493
20	チェコ	490	フランス	495	デンマーク	493
	OECD平均	487	OECD平均	489	OECD平均	489
	信頼区間※(日本): 499-509		信頼区間(日本): 522-532		信頼区間(日本): 524-534	

● 全参加国・地域(79か国・地域)における比較

 は日本の平均得点と統計的な有意差がない国

	読解力	平均得点	数学的リテラシー	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	北京・上海・江蘇・浙江	555	北京・上海・江蘇・浙江	591	北京・上海・江蘇・浙江	590
2	シンガポール	549	シンガポール	569	シンガポール	551
3	マカオ	525	マカオ	558	マカオ	544
4	香港	524	香港	551	エストニア	530
5	エストニア	523	台湾	531	日本	529
6	カナダ	520	日本	527	フィンランド	522
7	フィンランド	520	韓国	526	韓国	519
8	アイルランド	518	エストニア	523	カナダ	518
9	韓国	514	オランダ	519	香港	517
10	ポーランド	512	ポーランド	516	台湾	516
11	スウェーデン	506	スイス	515	ポーランド	511
12	ニュージーランド	506	カナダ	512	ニュージーランド	508
13	アメリカ	505	デンマーク	509	スロベニア	507
14	イギリス	504	スロベニア	509	イギリス	505
15	日本	504	ベルギー	508	オランダ	503
16	オーストラリア	503	フィンランド	507	ドイツ	503
17	台湾	503	スウェーデン	502	オーストラリア	503
18	デンマーク	501	イギリス	502	アメリカ	502
19	ノルウェー	499	ノルウェー	501	スウェーデン	499
20	ドイツ	498	ドイツ	500	ベルギー	499
	信頼区間※(日本): 499-509		信頼区間(日本): 522-532		信頼区間(日本): 524-534	

※灰色の国・地域は非OECD加盟国・地域を表す。

※信頼区間は調査対象者となる生徒全員(母集団)の平均値が存在すると考えられる得点の幅を表す。PISA調査は標本調査であるため、一定の幅をもって平均値を考える必要がある。

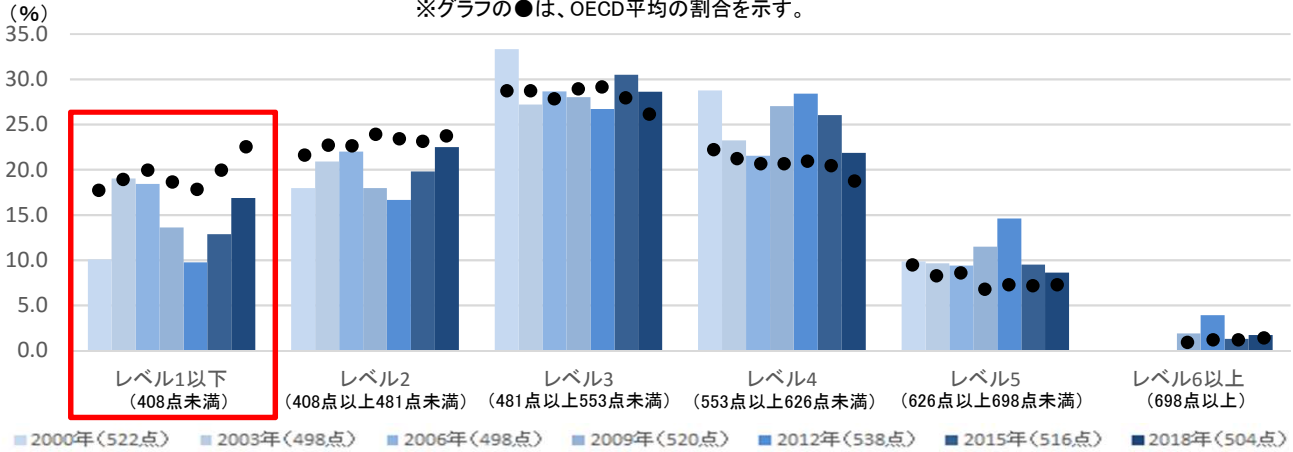
※同得点でも順位が異なるのは、小数点以下の数値の差異による。

2. 読解力について

日本の読解力の結果概要

- ◆読解力の平均得点(504点)は、OECD平均より高得点のグループに位置しているが、前回2015年調査(516点)から有意に低下。OECD加盟国中11位(順位の範囲:7-15位)。
- ◆習熟度レベル1以下の低得点層が有意に増加しており、OECD平均も同様の傾向。

※習熟度レベルは、高いレベルほど高得点であり、その分野の能力を十分に身に付けていることを示す。
 なお、習熟度レベル6以上は、2009年以降で計測しており、2006年以前はレベル5に含まれている。
 ※グラフの●は、OECD平均の割合を示す。



各国・地域の平均得点の長期トレンド

※()内は日本の読解力の平均得点

- ◆平均得点の2000年～2018年の長期トレンドに関するOECDの分析によると、日本の読解力は、平均得点のトレンドに統計的に有意な変化がない国・地域に分類され、そのうち「平坦」タイプに該当。

平均得点のトレンドが	平坦から上昇	上昇	上昇し平坦
	<p>〔マカオ〕</p>	<p>エストニア</p>	<p>ドイツ ポーランド</p>
統計的に有意な変化がない	<p>アイルランド</p>	<p>日本 フランス カナダ イタリア アメリカ イギリス</p>	<p>〔香港〕〔台湾〕</p> <p>OECD平均</p>
	平均得点のトレンドが下降している	<p>韓国 オランダ</p>	<p>オーストラリア ニュージーランド フィンランド</p>

読解力の定義

【読解力の定義】

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

※下線部は2018年調査からの定義変更箇所

- コンピュータ使用型に移行し、デジタルテキストを踏まえた設計となったため、「書かれたテキスト」から「テキスト」に変更。(デジタルテキスト:オンライン上の多様な形式を用いたテキスト(Webサイト、投稿文、電子メールなど))
- 議論の信ぴょう性や著者の視点を検討する能力を把握するため、テキストを「評価する」という用語を追加。

測定する能力

①情報を探し出す

- テキスト中の情報にアクセスし、取り出す
- 関連するテキストを探索し、選び出す

②理解する

- 字句の意味を理解する
- 統合し、推論を創出する

③評価し、熟考する

- 質と信ぴょう性を評価する
- 内容と形式について熟考する
- 矛盾を見つけて対処する

(下線部は、2018年調査から新たに定義に追加された要素)

読解力の調査結果の分析

- 読解力の平均得点の低下に影響を与える要因について分析したところ、生徒側(関心・意欲、自由記述の解答状況、課題文の内容に関する既存知識・経験、コンピュータ画面上での長文読解の慣れ等)、問題側(構成、テーマ、テキストの種類、翻訳の影響等)に関する事項などの様々な要因が複合的に影響している可能性があると考えられる。
- 読解力を測定する3つの能力について、それらの平均得点が比較可能な2000年、2009年及び2018年(読解力が中心分野の回)の調査結果を踏まえると、
 - ・「②理解する」能力については、その平均得点が安定的に高い。
 - ・「①情報を探し出す」能力については、2009年調査結果と比較すると、その平均得点が低下。特に、習熟度レベル5以上の高得点層の割合がOECD平均と同程度まで少なくなっている。
 - ・「③評価し、熟考する」能力については、2009年調査結果と比較すると、平均得点が低下。特に、2018年調査から、「質と信ぴょう性を評価する」「矛盾を見つけて対処する」が定義に追加され、これらを問う問題の正答率が低かった。
- また、各問題の解答状況を分析したところ、自由記述形式の問題において、自分の考えを根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。誤答には、自分の考えを他者に伝えるように記述できず、問題文からの語句の引用のみで説明が不十分な解答となるなどの傾向が見られる。

日本の生徒の正答率が低い問題の一例

◆【①情報を探し出す】や【③評価し、熟考する】に関する問題【2018年調査新規問題】

ある商品について、販売元の企業とオンライン雑誌という異なる立場から発信された複数の課題文から必要な情報を探し出したり、それぞれの意図を考えながら、主張や情報の質と信ぴょう性を評価した上で、自分がどう対処するかを説明したりする問題。

大問

◆課題文1:企業のWebサイト (商品の安全性を宣伝)

- 問1:字句や内容を理解する
- 問2:記載内容の質と信ぴょう性を評価する(自由記述)

◆課題文2:オンライン雑誌記事 (商品の安全性について別の見解)

- 問3:課題文の内容形式を考える
- 問4:必要な情報がどのWebサイトに記載されているか推測し探し出す
【測定する能力①情報を探し出す】

◆課題文1と2を比較対照

- 問5:両文章の異同を確認する
- 問6:情報の質と信ぴょう性を評価し自分ならどう対処するか、根拠を示して説明する(自由記述)
【測定する能力③評価し、熟考する】

※問4や問6のような問題において、日本の生徒の正答率がOECD平均と比べて低い 4

コンピュータ使用型調査について(2015年、2018年調査)

◆2015年調査より、コンピュータ使用型調査に移行

操作例

- 長文の課題文をスクロールして読む
- キーボードで解答入力(ローマ字入力)
- 複数の画面で課題文を提示(Webリンクのクリックやタブの切替えで他画面に移動)
- マウスによる解答選択、ドラッグ&ドロップ操作で画面上の選択肢を動かして解答
 - ※数学的リテラシーのみ、従来の冊子型の問題を用いてコンピュータ画面上で実施しており、次回2021年調査からコンピュータ使用型調査用に、新規問題を開発・導入予定。

調査設計

- 大問ごとに解答を完結する設計のため、解答が終わって次の問に進むと前の大問に戻れない設計。冊子による調査と異なり、最初に調査の全体像を把握したり、最後に全体の解答を修正したりすることができない。

読解力分野のコンピュータ使用型調査の特徴

- オンライン上の多様な形式を用いた課題文(投稿文、電子メール、フォーラムへの参加回答など)を活用(従来の小説、演劇の脚本、伝記、学术论文等に加えて)。
- 2018年調査は、全小問245題のうち約7割の173題がコンピュータ使用型調査用に開発された新規問題。日本の生徒にとって、あまり馴染みのない多様な形式のデジタルテキスト(Webサイト、投稿文、電子メールなど)や文化的背景、概念・語彙などが使用された問題の数が増加したと考えられる。

● 2018年調査(読解力分野)の公開問題【ラパヌイ島】

問1

右の教授のブログを読んで、下の問いの答えを一つクリックしてください。

ブログによると、教授がフィールドワークを始めたのはいつですか。

- 1990年代
- 九か月前
- 一年前
- 五月の始め

3種類の課題文で構成

- 大学教授のブログ
- 書評
- オンライン科学雑誌の記事

問1【測定する能力 ①情報を探し出す】
ある大学教授のブログを画面をスクロールして読んだ上で、教授がフィールドワークを始めた時期を選択して解答する。

タブをクリックし、画面表示する課題文を選ぶ。

問6

二つの説に関する原因と結果を正しい位置にドラッグ&ドロップして、下の表を完成させてください。

原因	結果	移動する理由
モアイ像は同じ石切り場で彫られた。	ナンヨウネズミが木の種を食べ、その結果新しい木が育たなかった。	移住者はカヌーを使ってネズミをラパヌイ島に連れてきた。
ラパヌイ島にあった木が消滅した。	ラパヌイ島の住人は、モアイ像を運ぶために天然資源が必要だった。	人間は耕作やその他の理由のために木を切って土地を切り開いた。

2つの説に関する原因と結果を選択肢から選び、ドラッグ&ドロップ操作によりそれぞれ正しい位置に移動させ、表を完成させる。

サイエンス ニュース

ラパヌイ島の森を破壊したのはナンヨウネズミか？
科学レポート 木村 真

2005年、ジャレド・ダイヤモンド氏の『文明崩壊』が出版されました。この本の中で、彼はラパヌイ島(別名イースター島)に人が定住した様子を描いています。

本書は出版と同時に大きな議論を呼びました。多くの科学者が、ラパヌイ島で起こったことについてのダイヤモンド氏の説に疑問を抱いたのです。科学者たちは、18世紀にヨーロッパ人がその島に初めて上陸した時には巨木が茂っていた点については同意しましたが、消滅した原因についてのジャレド・ダイヤモンド氏の説には同意しなかったのです。

そして、二人の科学者カーレル・リポとデリー・ハント氏による新しい説が発表されました。彼らはナンヨウネズミが木の種を食べたために、新しい木が育たなかったと考えています。そのネズミはラパヌイ島の最初の移住者である人間が上陸するために使ったカヌーに偶然乗っていたか、または、この島に意図的に連れてこられたのだと、彼らは述べています。

ネズミの数は、47日間で二倍に増えるという研究結果があります。それほど数のネズミが育つには多くのエサが必要です。リポとハント氏はこの説の根拠として、ヤシの実の残骸にネズミが噛みつけた跡が残っている点を指摘しています。もちろん彼らも、ラパヌイ島の森の破壊に人間が加担したことは認めています。しかし、一連の経緯の元凶は主にナンヨウネズミの方であったというのが、彼らの主張なのです。

読書活動と読解力の関係

◆日本を含むOECD全体の傾向

○本の種類にかかわらず、本を読む頻度は、2009年と比較して減少傾向にある。

・「月に数回」「週に数回」読むと回答した生徒の割合

(例)「新聞」: 日本21.5% (36.0ポイント減)、OECD平均25.4% (37.1ポイント減)

「雑誌」: 日本30.8% (33.8ポイント減)、OECD平均18.5% (40.4ポイント減)

○読書を肯定的にとらえる生徒や本を読む頻度が高い生徒の方が、読解力の得点が高い。中でも、フィクション、ノンフィクション、新聞をよく読む生徒の読解力の得点が高い。

◆日本の特徴

○OECD平均と比較すると、日本は、読書を肯定的にとらえる生徒の割合が多い傾向にある。

・「読書は、大好きな趣味の一つ」: 日本45.2% (3.2ポイント増)、OECD平均33.7% (0.4ポイント増)

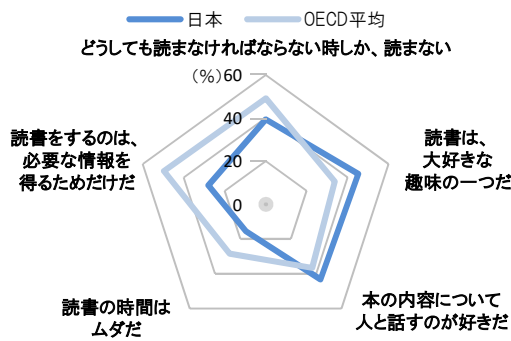
・「どうしても読まなければならない時しか、読まない」: 日本39.3% (8.2ポイント減)、OECD平均49.1% (7.8ポイント増)

○OECD平均と比較すると、コミック(マンガ)やフィクションを読む生徒の割合が多い。新聞、フィクション、ノンフィクション、コミックのいずれも、よく読む生徒の読解力の得点が高い。

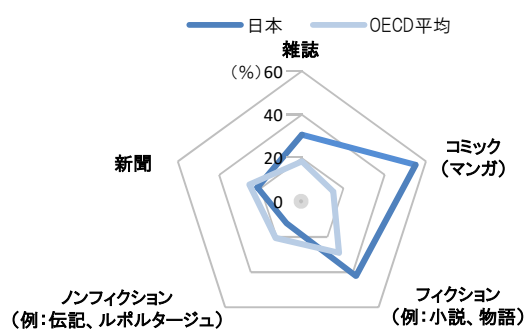
※「読書」には、本、ウェブサイト等多様な読み物を含み、デジタル機器による読書も含む。

※読書や国語の授業に関する生徒への質問調査は、読解力が中心分野の時にしか行われなかったため、2009年調査の結果と比較。

【読書への関わり】 ※「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合【複数回答可】



【読む本の種類・頻度】 ※「月に数回」または「週に数回」と回答した生徒の割合【複数回答可】

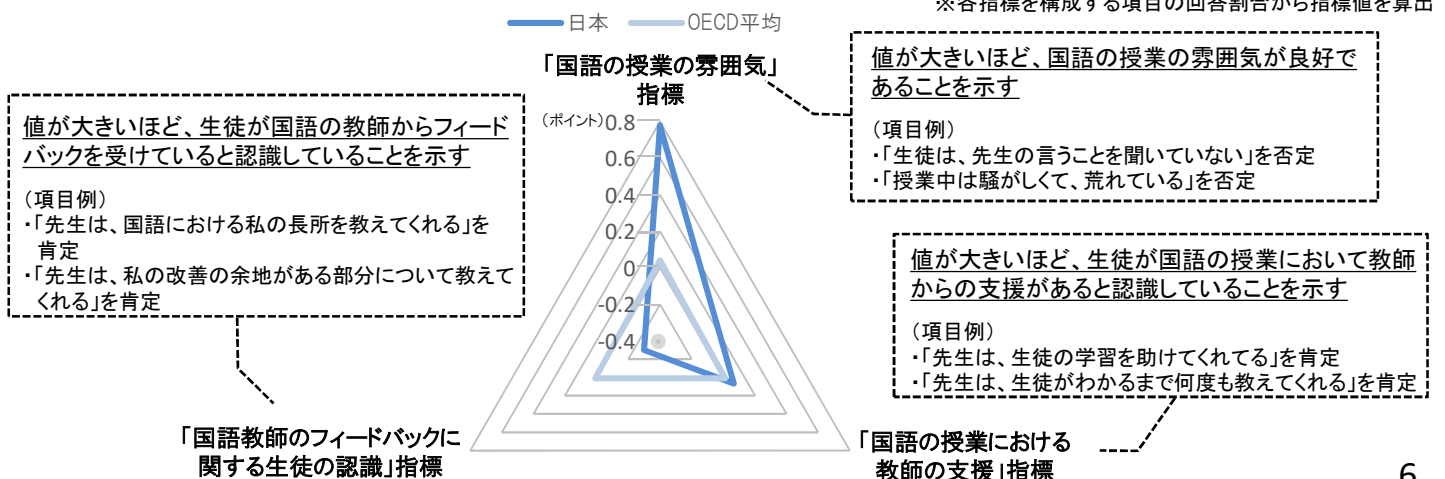


国語の授業

◆国語の授業に関する指標値は、比較的良好。

日本は、「国語の授業の雰囲気」指標、「国語の授業における教師の支援」指標の値がOECD平均を上回っており、国語の授業の雰囲気が比較的良好である。一方、「国語教師のフィードバックに関する生徒の認識」は、OECD平均より低い。これは、PISA調査が、高校1年の6~8月という、入学して間もない時期に行われていることが影響した可能性もあると考えられる。

※各指標を構成する項目の回答割合から指標値を算出



3. 数学的リテラシー及び科学的リテラシーについて

数学的リテラシー

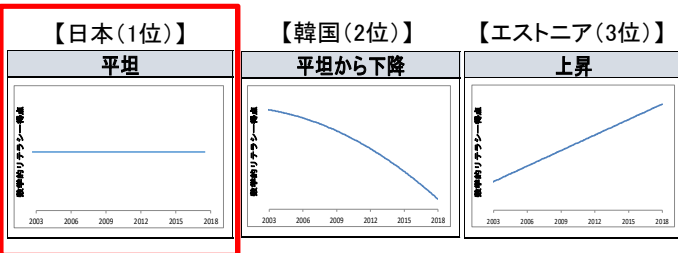
◆2018年調査も、世界トップレベルに位置

日本の平均得点は527点。
加盟国中 1位（順位の範囲:1~3位）。

◆長期トレンドでも、世界トップレベルを維持

平均得点の2003年~2018年の長期トレンドは、統計的に有意な得点の上昇・下降がない類型のうち「平坦」タイプであり、世界トップレベルを維持。

● 2018年調査上位3か国(OECD加盟国)の状況



科学的リテラシー

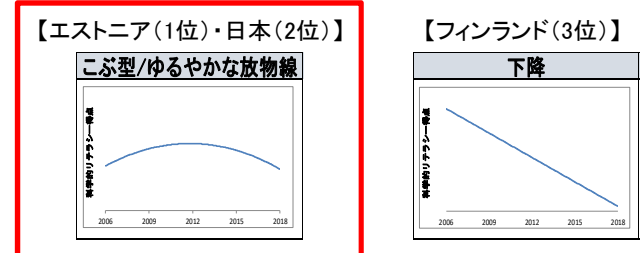
◆2018年調査も、世界トップレベルに位置

日本の平均得点は529点。
加盟国中 2位（順位の範囲:1~3位）。
前回調査と比較すると、平均得点は有意に低下しているが、上位国も同様の傾向。

◆長期トレンドでも、世界トップレベルを維持

平均得点の2006年~2018年の長期トレンドは、統計的に有意な得点の上昇・下降がない類型のうち「こぶ型」タイプであり、世界トップレベルを維持。

● 2018年調査上位3か国(OECD加盟国)の状況

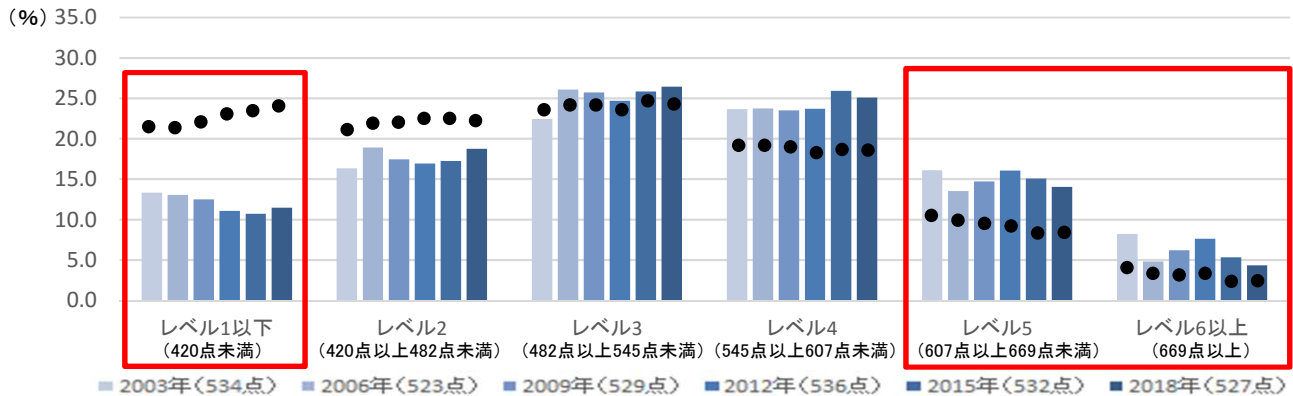


日本の習熟度レベル別の推移

※習熟度レベルは、高いレベルほど高得点であり、その分野の能力を十分に身に付けていることを示す。
※グラフの●は、OECD平均の割合を示す。
※各リテラシーが初めて中心分野となった調査年から比較。

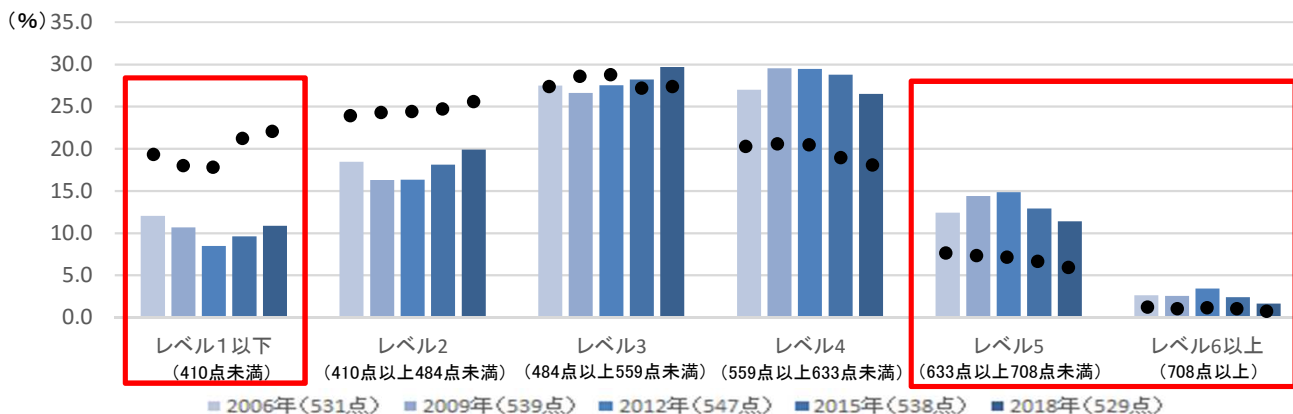
数学的リテラシー

レベル1以下の低得点層が少なく、レベル5以上の高得点層が多い



科学的リテラシー

レベル1以下の低得点層が少なく、レベル5以上の高得点層が多い



4. 平均得点と社会経済文化的背景(ESCS)

◆社会経済文化的背景(ESCS; Economic, Social and Cultural Status)

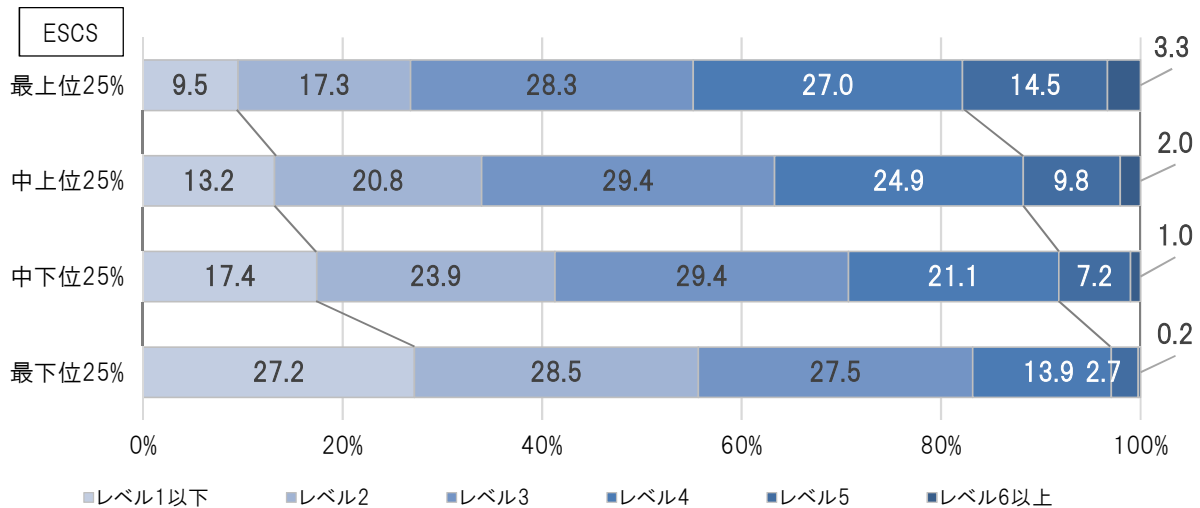
保護者の学歴や家庭の所有物に関する質問項目からESCS指標を作成。この値が大きいほど、社会経済文化的水準が高いとみなしている。PISA調査では、ESCSの値の高低により生徒を4群に分け、3分野の得点との関係などを分析。

◆ESCSと習熟度レベル別の割合との関係

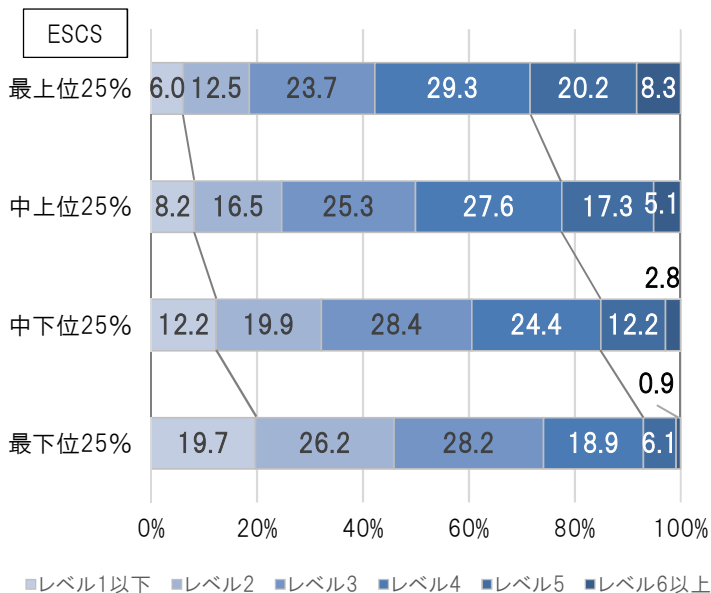
- ・日本、OECD平均ともに、ESCSが高い水準ほど習熟度レベルが高い生徒の割合が多く、ESCSが低い水準ほど習熟度レベルが低い生徒の割合が多い。
- ・日本は、OECD加盟国内で、社会経済文化的水準の生徒間の差が最も小さく、社会経済文化的水準が生徒の得点に影響を及ぼす度合いが低い国の1つであり、調査開始から引き続き、2018年調査においても同様の傾向が見られる。

● 日本のESCSの水準別の3分野の習熟度レベルの割合(2018年)

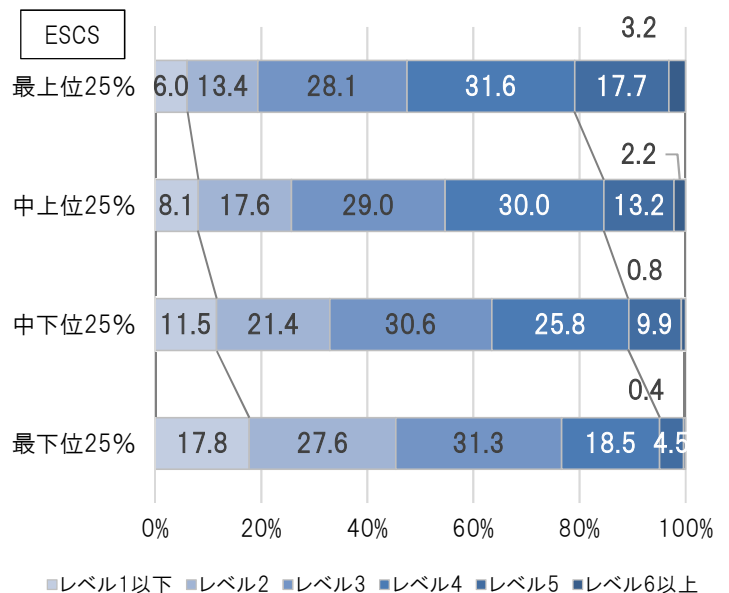
読解力



数学的リテラシー



科学的リテラシー



5. ICT活用調査

ICT活用調査

生徒に、携帯電話、デスクトップ/タブレット型コンピュータ、スマートフォン、ゲーム機など、様々なデジタル機器の利用状況について尋ねた調査。

学校外のインターネットの利用について

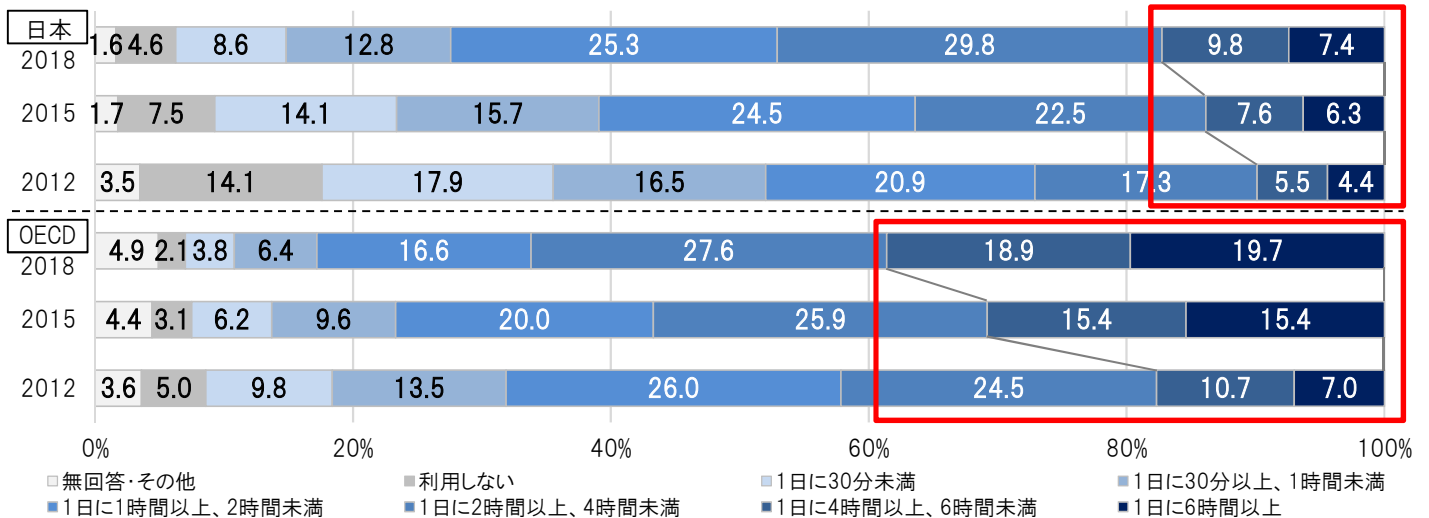
◆利用時間の推移

- ・日本、OECD平均ともに、平日、学校外でインターネットを4時間以上利用する生徒が増えている。
- ・なお、4時間以上利用する生徒の割合を比較すると、日本は、OECD平均より少ない。

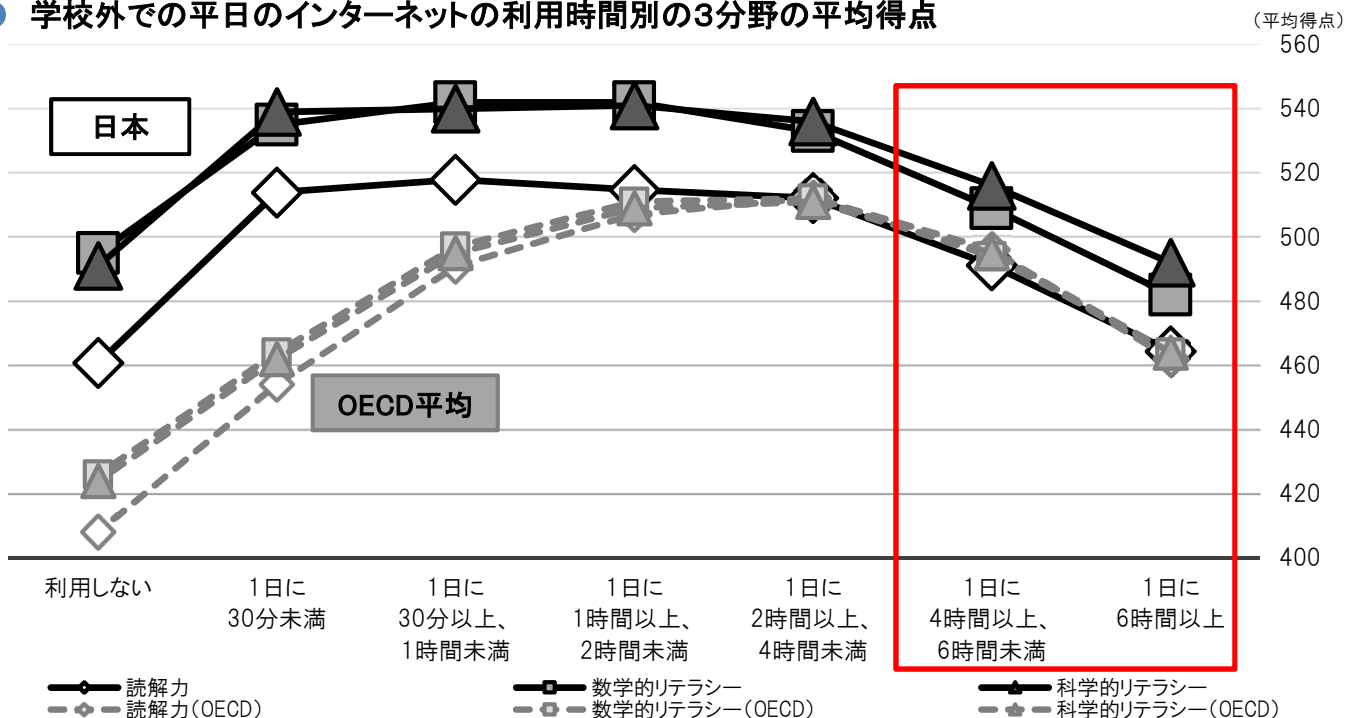
◆利用時間と3分野の平均得点の関係

- ・日本、OECD平均ともに、学校外でのインターネットの利用時間が4時間以上になると、3分野ともに平均得点が低下。
- ・一方、4時間未満の利用について見ると、日本は30分以上4時間未満利用する生徒の3分野の平均得点はほとんど差がないが、OECD平均は利用する時間が長いほど平均得点は高くなる傾向がある。

● 学校外での平日のインターネットの利用時間(経年変化)



● 学校外での平日のインターネットの利用時間別の3分野の平均得点



学校・学校外でのデジタル機器の利用状況

◆日本は学校の授業(国語、数学、理科)におけるデジタル機器の利用時間が短く、OECD加盟国中最下位。

「利用しない」と答えた生徒の割合は約80%に及び、OECD加盟国中最も多い。

◆日本は、他のOECD加盟国と同様、学校外で多様な用途にデジタル機器を利用している。

○他国と比較して、ネット上でのチャットやゲーム(1人用ゲーム・多人数オンラインゲーム)を利用する頻度の高い生徒の割合が高く、かつその増加の程度が著しい。

・「毎日」「ほぼ毎日」利用すると回答した生徒の割合の増加の程度(2012年調査との比較)

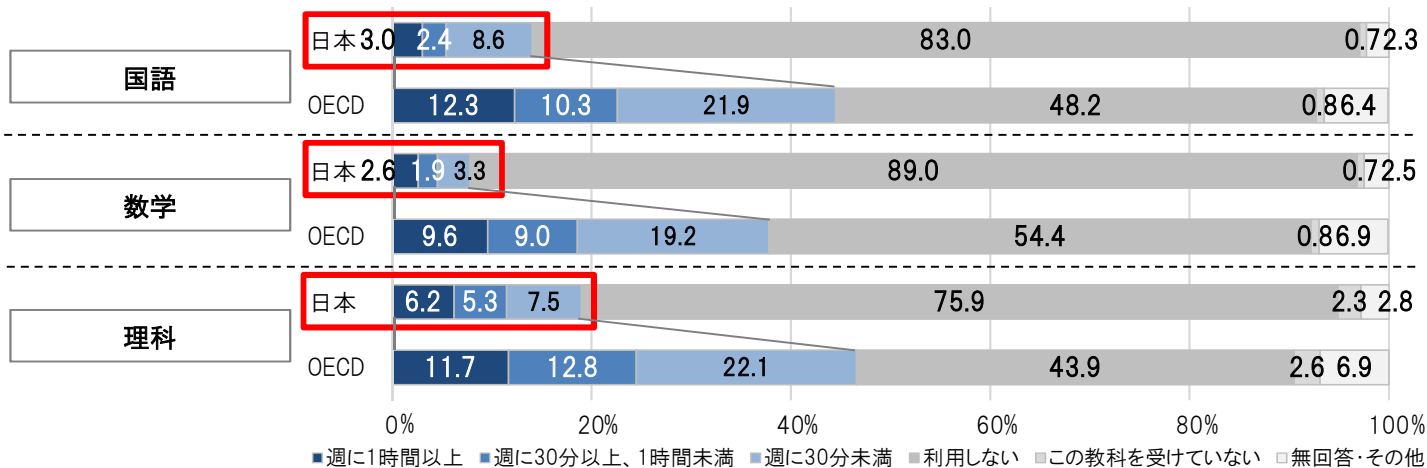
・「ネット上でチャットをする」: 日本60.5ポイント増、OECD平均15.4ポイント増

・「1人用ゲームで遊ぶ」: 日本21.3ポイント増、OECD平均7.1ポイント増

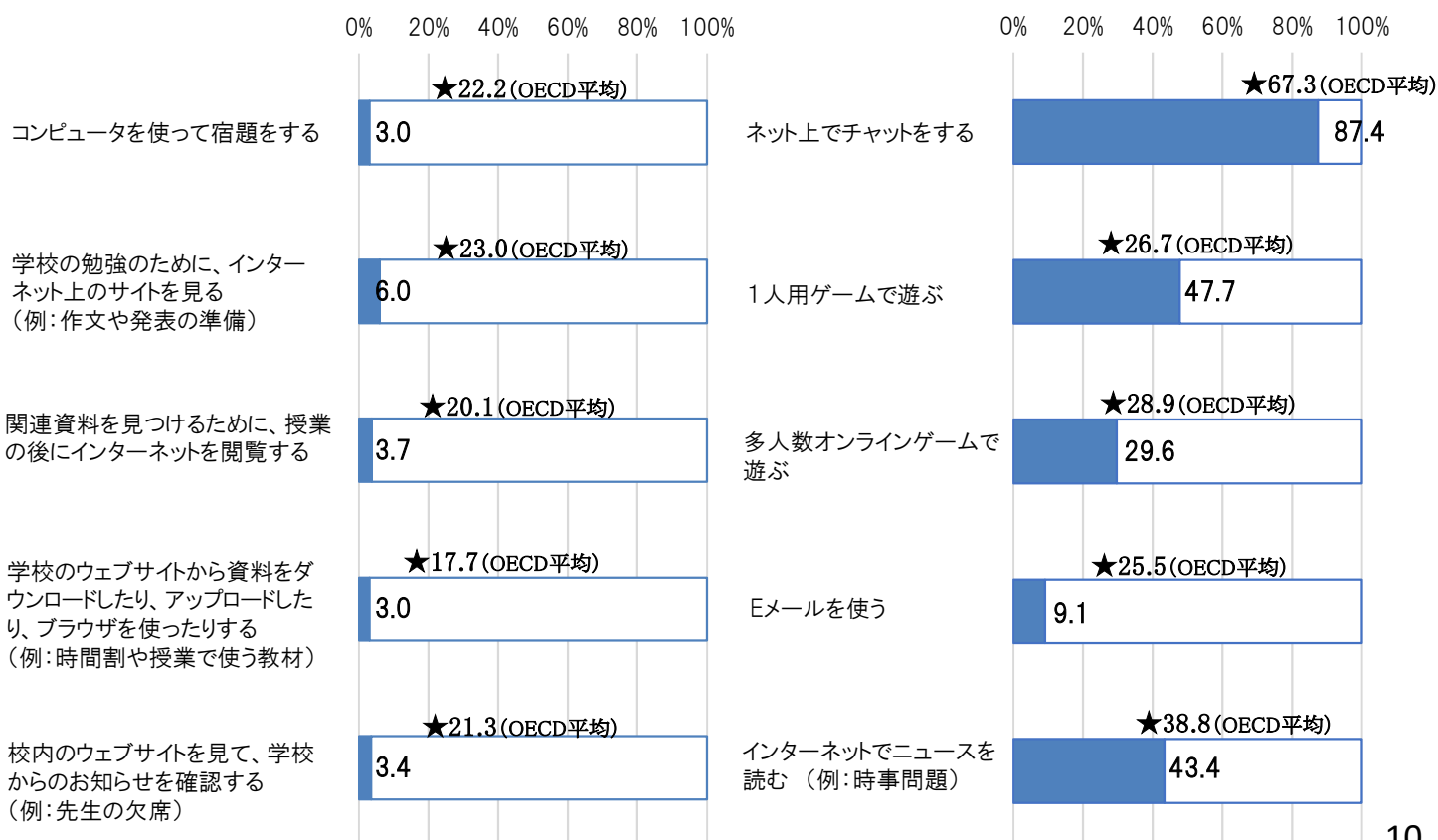
・「多人数オンラインゲームで遊ぶ」: 日本19.4ポイント増、OECD平均7.9ポイント増

○コンピュータを使って宿題をする頻度がOECD加盟国中最下位。

● 1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を利用する時間



● 学校外での平日のデジタル機器の利用状況 (青色帯は日本の、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



PISA調査結果を踏まえた文部科学省の施策

1. PISA調査結果における各課題に対応した新学習指導要領の実施

文部科学省において、PISA調査結果における各課題に対応した新学習指導要領を着実に実施するとともに、各種施策を推進し、教育委員会・学校・教職員の取組を支援。

(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現

・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善により、児童生徒に学習する意義を実感させたり、情報を精査して考えを形成させたり、問題を見いだして解決策を考えさせたりすることを重視した学習を充実できるように、好事例の蓄積や情報提供などによる支援を実施。

(2) 読解力等の言語能力の確実な育成

① 小中高等学校を通じた国語科における指導の充実

・文章を正確に理解するために必要な語彙、情報の扱い方の確実な定着(辞書や事典の活用等)。
・「読むこと」の指導における⑦文章の構成や論理の展開、表現の仕方を捉え内容を解釈すること、④文章と図表の関係を踏まえて内容を理解すること、⑨文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをもち表現することの重視。
・多様な文章を読んで考えたことを話し合ったり、文章にまとめたりするなどの言語活動の重視。

② 言語能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントの充実

・グラフや図表を読む、実用的な文章(新聞や広報誌等)に触れる等の機会の充実や各教科等の学習を支える語彙の確実な習得(辞書や事典の活用等)のための各教科等の特質に応じた言語活動等の充実。
・総合的な学習(探究)の時間や理数探究等における論文、レポート等を重視した言語活動の充実。
・朝の読書活動等による読書習慣の定着や学校図書館の整備・活用等の言語環境の整備。

(3) 情報活用能力の確実な育成

・小学校段階からのプログラミング教育の実施、学校での学習活動におけるコンピュータ活用の推進。
・コンピュータ等の情報手段を適切に用いた情報取得、情報の整理・比較、情報の発信・伝達、データの保存・共有等を行う力の育成、及びそれらを行う上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得の重視。
・家庭・地域と連携したスマートフォン等の適切な利用(長時間、SNS等)に関する情報モラル教育の推進。

(4) 理数教育の充実

・数学教育における、知識・技能の多様な場面での活用機会、統計的に考察し問題解決を図る活動の充実。
・理科教育における、日常生活や社会との関連を重視する活動、実験・観察など科学的に探究する活動の充実。

(5) 全国学力・学習状況調査も活用した指導の充実

・全国学力・学習状況調査の結果により児童生徒の学習状況を把握した上で、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践して評価・改善する力の育成する指導の充実。

2. 学校のICT環境整備の加速化に向けた取組の推進

(1) 学校のICT環境整備の加速化に向けた取組の推進

一人一台の学習者用コンピュータ、学校内全教室の高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を推進。

(2) 「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」の具体化・実施

学校における効果的な先端技術の活用や新時代の学びに必要な学校ICT環境整備に関する実証等を推進。

3. 全児童生徒の教育機会の確保によるセーフティネットの構築

(1) 社会経済文化的背景による格差の縮小に向けた質の高い教育の機会の提供

家庭の経済事情に左右されることなく、誰もが希望する質の高い教育を受けられるよう、幼児期から高等教育段階までの切れ目のない形での教育の無償化・負担軽減や、教育の質の向上のための施策を着実に実施。

(2) 学校・家庭・地域が連携した取組の充実

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えるため、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進、地域における家庭教育支援の推進、様々な体験活動の推進等、学校・家庭・地域が連携した取組を支援。

【参考】2018年調査の国際比較(3分野の結果一覧)

	読解力	平均 得点	数学的リテラシー	平均 得点	科学的リテラシー	平均 得点
1	北京・上海・江蘇・浙江	555	北京・上海・江蘇・浙江	591	北京・上海・江蘇・浙江	590
2	シンガポール	549	シンガポール	569	シンガポール	551
3	マカオ	525	マカオ	558	マカオ	544
4	香港	524	香港	551	エストニア	530
5	エストニア	523	台湾	531	日本	529
6	カナダ	520	日本	527	フィンランド	522
7	フィンランド	520	韓国	526	韓国	519
8	アイルランド	518	エストニア	523	カナダ	518
9	韓国	514	オランダ	519	香港	517
10	ポーランド	512	ポーランド	516	台湾	516
11	スウェーデン	506	スイス	515	ポーランド	511
12	ニュージーランド	506	カナダ	512	ニュージーランド	508
13	アメリカ	505	デンマーク	509	スロベニア	507
14	イギリス	504	スロベニア	509	イギリス	505
15	日本	504	ベルギー	508	オランダ	503
16	オーストラリア	503	フィンランド	507	ドイツ	503
17	台湾	503	スウェーデン	502	オーストラリア	503
18	デンマーク	501	イギリス	502	アメリカ	502
19	ノルウェー	499	ノルウェー	501	スウェーデン	499
20	ドイツ	498	ドイツ	500	ベルギー	499
21	スロベニア	495	アイルランド	500	チェコ	497
22	ベルギー	493	チェコ	499	アイルランド	496
23	フランス	493	オーストリア	499	スイス	495
24	ポルトガル	492	ラトビア	496	フランス	493
25	チェコ	490	フランス	495	デンマーク	493
26	オランダ	485	アイスランド	495	ポルトガル	492
27	オーストリア	484	ニュージーランド	494	ノルウェー	490
28	スイス	484	ポルトガル	492	オーストリア	490
29	クロアチア	479	オーストラリア	491	ラトビア	487
30	ラトビア	479	ロシア	488	スペイン	483
31	ロシア	479	イタリア	487	リトアニア	482
32	イタリア	476	スロバキア	486	ハンガリー	481
33	ハンガリー	476	ルクセンブルク	483	ロシア	478
34	リトアニア	476	スペイン	481	ルクセンブルク	477
35	アイスランド	474	リトアニア	481	アイスランド	475
36	ベラルーシ	474	ハンガリー	481	クロアチア	472
37	イスラエル	470	アメリカ	478	ベラルーシ	471
38	ルクセンブルク	470	ベラルーシ	472	ウクライナ※	469
39	ウクライナ※	466	マルタ	472	トルコ	468
40	トルコ	466	クロアチア	464	イタリア	468
41	スロバキア	458	イスラエル	463	スロバキア	464
42	ギリシャ	457	トルコ	454	イスラエル	462
43	チリ	452	ウクライナ※	453	マルタ	457
44	マルタ	448	ギリシャ	451	ギリシャ	452
45	セルビア	439	キプロス	451	チリ	444
46	アラブ首長国連邦	432	セルビア	448	セルビア	440
47	ルーマニア※	428	マレーシア	440	キプロス	439
48	ウルグアイ	427	アルバニア	437	マレーシア	438
49	コスタリカ	426	ブルガリア	436	アラブ首長国連邦	434
50	キプロス	424	アラブ首長国連邦	435	ブルネイ	431
51	モルドバ※	424	ブルネイ	430	ヨルダン※	429
52	モンテネグロ	421	ルーマニア※	430	モルドバ※	428
53	メキシコ	420	モンテネグロ	430	タイ	426
54	ブルガリア	420	カザフスタン	423	ウルグアイ	426
55	ヨルダン※	419	モルドバ※	421	ルーマニア※	426
56	マレーシア	415	バクー(アゼルバイジャン)	420	ブルガリア	424
57	ブラジル	413	タイ	419	メキシコ	419
58	コロンビア	412	ウルグアイ	418	カタール	419
59	ブルネイ	408	チリ	417	アルバニア	417
60	カタール	407	カタール	414	コスタリカ	416
61	アルバニア	405	メキシコ	409	モンテネグロ	415
62	ボスニア・ヘルツェゴビナ	403	ボスニア・ヘルツェゴビナ	406	コロンビア	413
63	アルゼンチン※	402	コスタリカ	402	北マケドニア※	413
64	ペルー	401	ペルー	400	ペルー	404
65	サウジアラビア※	399	ヨルダン※	400	アルゼンチン※	404
66	タイ	393	ジョージア	398	ブラジル	404
67	北マケドニア※	393	北マケドニア※	394	ボスニア・ヘルツェゴビナ	398
68	バクー(アゼルバイジャン)	389	レバノン※	393	バクー(アゼルバイジャン)	398
69	カザフスタン	387	コロンビア	391	カザフスタン	397
70	ジョージア	380	ブラジル	384	インドネシア	396
71	パナマ	377	アルゼンチン※	379	サウジアラビア※	386
72	インドネシア	371	インドネシア	379	レバノン※	384
73	モロッコ	359	サウジアラビア※	373	ジョージア	383
74	レバノン※	353	モロッコ	368	モロッコ	377
75	コンボ	353	コンボ	366	コンボ	365
76	ドミニカ共和国	342	パナマ	353	パナマ	365
77	フィリピン	340	フィリピン	353	フィリピン	357
78			ドミニカ共和国	325	ドミニカ共和国	336
	OECD平均	487	OECD平均	489	OECD平均	489
	信頼区間(日本): 499-509		信頼区間(日本): 522-532		信頼区間(日本): 524-534	

(注)※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったベトナム・スペイン(読解力のみ)は除く。

国名	OECD加盟国
国名	非OECD加盟国
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意でない国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

【参考】PISA調査 読解力国際比較(全79か国・地域)

	2000年★	得点	2003年	得点	2006年	得点	2009年★	得点	2012年	得点	2015年	得点	2018年★	得点
1	フィンランド	546	フィンランド	543	韓国	556	上海	556	上海	570	シンガポール	535	北京・上海・江蘇・浙江	555
2	カナダ	534	韓国	534	フィンランド	547	韓国	539	香港	545	香港	527	シンガポール	549
3	ニュージーランド	529	カナダ	528	香港	536	フィンランド	533	シンガポール	542	カナダ	527	マカオ	525
4	オーストラリア	528	オーストラリア	525	カナダ	527	香港	536	日本	538	フィンランド	526	香港	524
5	アイルランド	527	リヒテンシュタイン	525	ニュージーランド	521	シンガポール	526	韓国	536	アイルランド	521	エストニア	523
6	韓国	525	ニュージーランド	522	アイルランド	517	カナダ	524	フィンランド	524	エストニア	519	カナダ	520
7	イギリス	523	アイルランド	515	オーストラリア	513	ニュージーランド	521	アイルランド	523	韓国	517	フィンランド	520
8	日本	522	スウェーデン	514	リヒテンシュタイン	510	日本	520	台湾	523	日本	516	アイルランド	518
9	スウェーデン	516	オランダ	513	ポーランド	508	オーストラリア	515	カナダ	523	ノルウェー	513	韓国	514
10	オーストラリア	507	香港	510	スウェーデン	507	オランダ	508	ポーランド	518	ニュージーランド	509	ポーランド	512
11	ベルギー	507	ベルギー	507	オランダ	507	ベルギー	506	エストニア	516	ドイツ	509	スウェーデン	506
12	アイスランド	507	ノルウェー	500	ベルギー	501	ノルウェー	503	リヒテンシュタイン	516	マカオ	509	ニュージーランド	506
13	ノルウェー	505	スイス	499	エストニア	501	エストニア	501	ニュージーランド	512	ポーランド	506	アメリカ	505
14	フランス	505	日本	498	スイス	499	スイス	501	オーストラリア	512	スロベニア	505	イギリス	504
15	アメリカ	504	マカオ	498	日本	498	ポーランド	500	オランダ	511	オランダ	503	日本	504
16	デンマーク	497	ポーランド	497	台湾	496	アイスランド	500	ベルギー	509	オーストラリア	503	オーストラリア	503
17	スイス	494	フランス	496	イギリス	495	アメリカ	500	スイス	509	スウェーデン	500	台湾	503
18	スペイン	493	アメリカ	495	ドイツ	495	リヒテンシュタイン	499	マカオ	509	デンマーク	500	デンマーク	501
19	チェコ	492	デンマーク	492	デンマーク	494	スウェーデン	497	ベトナム	508	フランス	499	ノルウェー	499
20	イタリア	487	アイスランド	492	スロベニア	494	ドイツ	497	ドイツ	508	ベルギー	499	ドイツ	498
21	ドイツ	484	ドイツ	491	マカオ	492	アイルランド	496	フランス	505	ポルトガル	498	スロベニア	495
22	リヒテンシュタイン	483	オーストリア	491	オーストリア	490	フランス	496	ノルウェー	504	イギリス	498	ベルギー	493
23	ハンガリー	480	ラトビア	491	フランス	488	フランス	499	イギリス	499	台湾	497	フランス	493
24	ポーランド	479	チェコ	489	アイスランド	484	デンマーク	495	アメリカ	498	アメリカ	497	ポルトガル	492
25	ギリシャ	474	ハンガリー	482	ノルウェー	484	イギリス	494	デンマーク	496	スペイン	496	チェコ	490
26	ポルトガル	470	スペイン	481	チェコ	483	ハンガリー	494	チェコ	493	ロシア	495	オランダ	485
27	ロシア	462	ルクセンブルク	479	ハンガリー	482	ポルトガル	489	イタリア	490	北京・上海・江蘇・広東	494	オーストリア	484
28	ラトビア	458	ポルトガル	478	ラトビア	479	マカオ	487	オーストリア	490	スイス	492	スイス	484
29	ルクセンブルク	441	イタリア	476	ルクセンブルク	479	イタリア	486	ラトビア	489	ラトビア	488	クロアチア	479
30	メキシコ	422	ギリシャ	472	クロアチア	477	ラトビア	484	ハンガリー	488	チェコ	487	ラトビア	479
31	ブラジル	396	スロバキア	469	ポルトガル	472	スロベニア	483	スペイン	488	クロアチア	487	ロシア	479
32			ロシア	442	リトアニア	470	ギリシャ	483	ルクセンブルク	488	ベトナム※	487	イタリア	476
33			トルコ	441	イタリア	469	スペイン	481	ポルトガル	488	オーストリア	485	ハンガリー	476
34			ウルグアイ	434	スロバキア	466	チェコ	478	イスラエル	486	イタリア	485	リトアニア	476
35			タイ	420	スペイン	461	スロバキア	477	クロアチア	485	アイスランド	482	アイスランド	474
36			セルビア・モンテネグロ	412	ギリシャ	460	クロアチア	476	スウェーデン	483	ルクセンブルク	481	ベラルーシ	474
37			ブラジル	403	トルコ	447	イスラエル	474	アイスランド	483	イスラエル	479	イスラエル	470
38			メキシコ	400	チリ	442	ルクセンブルク	472	スロベニア	481	ブエノスアイレス※	475	ルクセンブルク	470
39			インドネシア	382	ロシア	440	オーストリア	470	リトアニア	477	リトアニア	472	ウクライナ※	466
40			チュニジア	375	イスラエル	439	リトアニア	468	ギリシャ	477	ハンガリー	470	トルコ	466
41			タイ	417	トルコ	417	トルコ	464	トルコ	475	ギリシャ	467	スロバキア	458
42			ウルグアイ	413	ドバイ	413	ドバイ	459	ロシア	475	チリ	459	ギリシャ	457
43			メキシコ	410	ロシア	410	ロシア	459	スロバキア	463	スロバキア	453	チリ	452
44			ブルガリア	402	チリ	449	キプロス	449	マルタ※	449	マルタ	447	マルタ	448
45			セルビア	401	セルビア	442	セルビア	446	キプロス	446	セルビア	443	セルビア	439
46			ヨルダン	401	ブルガリア	429	アラブ首長国連邦	442	ウルグアイ	437	アラブ首長国連邦	432	アラブ首長国連邦	432
47			ルーマニア	396	ウルグアイ	426	チリ	441	ルーマニア※	441	ルーマニア※	434	ルーマニア※	428
48			インドネシア	393	メキシコ	425	タイ	441	アラブ首長国連邦	441	アラブ首長国連邦	434	ウルグアイ	427
49			ブラジル	393	ルーマニア	424	コスタリカ	441	ブルガリア	441	ブルガリア	432	コスタリカ	426
50			モンテネグロ	392	タイ	421	ルーマニア	438	トルコ	440	キプロス	428	キプロス	424
51			コロンビア	385	トリニダード・トバゴ	416	ブルガリア	436	コスタリカ	436	コスタリカ	427	モルドバ※	424
52			チュニジア	380	コロンビア	413	メキシコ	424	トリニダード・トバゴ※	424	モンテネグロ	427	モンテネグロ	421
53			アルゼンチン	374	ブラジル	412	モンテネグロ	422	モンテネグロ	422	モンテネグロ	427	メキシコ	420
54			アゼルバイジャン	353	モンテネグロ	408	ウルグアイ	411	コロンビア	425	ブルガリア	425	ブルガリア	420
55			カタール	312	ヨルダン	405	ブラジル	410	メキシコ	410	メキシコ	423	ヨルダン※	419
56			キルギス	285	チュニジア	404	チュニジア	404	モルドバ※	416	マレーシア	416	マレーシア	415
57			アメリカ	m	インドネシア	402	コロンビア	403	タイ	409	タイ	409	ブラジル	413
58			アルゼンチン	398	ヨルダン	398	ヨルダン	399	ヨルダン※	399	ヨルダン※	408	コロンビア	412
59			カザフスタン	390	マレーシア	398	マレーシア	398	ブラジル	398	ブラジル	407	ブルネイ	408
60			アルバニア	385	インドネシア	396	アルバニア※	396	アルバニア※	396	アルバニア※	405	カタール	407
61			カタール	372	アルゼンチン	396	カタール	396	カタール	402	アルバニア	402	アルバニア	405
62			パナマ	371	アルバニア	394	ジョージア※	394	ジョージア※	401	ボスニア・ヘルツェゴビナ	401	ボスニア・ヘルツェゴビナ	403
63			ペルー	370	カザフスタン	393	ペルー	393	ペルー	398	アルゼンチン※	398	アルゼンチン※	402
64			アゼルバイジャン	362	カタール	388	インドネシア※	388	インドネシア※	397	ペルー	397	ペルー	401
65			キルギス	314	ペルー	384	チュニジア	384	チュニジア	361	サウジアラビア※	361	サウジアラビア※	399
66														
67														
68														
69														
70														
71														
72														
73														
74														
75														
76														
77														
	OECD平均	500	OECD平均	494	OECD平均	492	OECD平均	493	OECD平均	496	OECD平均	493	OECD平均	487

(注1)実施年の後の★は、読解力を中心分野として重点的に調査した国を示す。

(注2)2000年調査において国際的な実施基準を満たさなかったオランダは除く。

(注3)2003年調査において国際的な実施基準を満たさなかったイギリスは除く。

(注4)2006年調査においてアメリカは、調査実施後、評価問題の冊子の組み方に不備が明らかとなったため、読解力の結果の分析から除かれている。

(注5)2015年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったアルゼンチン、カザフスタン、マレーシアは除く。

(注6)2018年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったベトナム・スペインは除く。

国名 OECD加盟国
非OECD加盟国

平均得点 OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点 OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域
平均得点 OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

【参考】PISA調査 数学的リテラシー国際比較(全79か国・地域)

	2000年	得点	2003年★	得点	2006年	得点	2009年	得点	2012年★	得点	2015年	得点	2018年	得点
1	日本	557	香港	550	台湾	549	上海	600	上海	613	シンガポール	564	北京・上海・江蘇・浙江	591
2	韓国	547	フィンランド	544	フィンランド	548	シンガポール	562	シンガポール	573	香港	548	シンガポール	569
3	ニュージーランド	537	韓国	542	香港	547	香港	555	香港	561	マカオ	544	マカオ	558
4	フィンランド	536	オランダ	538	韓国	547	韓国	546	台湾	560	台湾	542	台湾	551
5	オーストラリア	533	リヒテンシュタイン	536	オランダ	531	台湾	543	韓国	554	日本	532	台湾	531
6	カナダ	533	日本	534	スイス	530	フィンランド	541	マカオ	538	北京・上海・江蘇・広東	531	日本	527
7	スイス	529	カナダ	532	カナダ	527	リヒテンシュタイン	536	日本	536	韓国	524	韓国	526
8	イギリス	529	ベルギー	529	マカオ	525	スイス	534	リヒテンシュタイン	535	スイス	521	エストニア	523
9	ベルギー	520	マカオ	527	リヒテンシュタイン	525	日本	529	スイス	531	エストニア	520	オランダ	519
10	フランス	517	スイス	527	日本	523	カナダ	527	オランダ	523	カナダ	516	ポーランド	516
11	オーストラリア	515	オーストラリア	524	ニュージーランド	522	オランダ	526	エストニア	521	オランダ	512	スイス	515
12	デンマーク	514	ニュージーランド	523	ベルギー	520	マカオ	525	フィンランド	519	デンマーク	511	カナダ	512
13	アイスランド	514	チェコ	516	オーストラリア	520	ニュージーランド	519	カナダ	518	フィンランド	511	デンマーク	509
14	リヒテンシュタイン	514	アイスランド	515	エストニア	515	ベルギー	515	ポーランド	518	スロベニア	510	スロベニア	509
15	スウェーデン	510	デンマーク	514	デンマーク	513	オーストラリア	514	ベルギー	515	ベルギー	507	ベルギー	508
16	アイルランド	503	フランス	511	チェコ	510	ドイツ	513	ドイツ	514	ドイツ	506	フィンランド	507
17	ノルウェー	499	スウェーデン	509	アイスランド	506	エストニア	512	ベトナム	511	ポーランド	504	スウェーデン	502
18	チェコ	498	オーストリア	506	オーストリア	505	アイスランド	507	オーストリア	506	アイルランド	504	イギリス	502
19	アメリカ	493	ドイツ	503	スロベニア	504	デンマーク	503	オーストラリア	504	ノルウェー	502	ノルウェー	501
20	ドイツ	490	アイルランド	503	ドイツ	504	スロベニア	501	アイルランド	501	オーストリア	497	ドイツ	500
21	ハンガリー	488	スロバキア	498	スウェーデン	502	ノルウェー	498	スロベニア	501	ニュージーランド	495	アイルランド	500
22	ロシア	478	ノルウェー	495	アイルランド	501	フランス	497	デンマーク	500	ベトナム※	495	チェコ	499
23	スペイン	476	ルクセンブルク	493	フランス	496	スロバキア	497	ニュージーランド	500	ロシア	494	オーストリア	499
24	ポーランド	470	ポーランド	490	イギリス	495	オーストリア	496	チェコ	499	スウェーデン	494	ラトビア	496
25	ラトビア	463	ハンガリー	490	ポーランド	495	ポーランド	495	フランス	495	オーストラリア	494	フランス	495
26	イタリア	457	スペイン	485	スロバキア	492	スウェーデン	494	イギリス	494	フランス	493	アイスランド	495
27	ポルトガル	454	ラトビア	483	ハンガリー	491	チェコ	493	アイスランド	493	イギリス	492	ニュージーランド	494
28	ギリシャ	447	アメリカ	483	ルクセンブルク	490	イギリス	492	ラトビア	491	チェコ	492	ポルトガル	492
29	ルクセンブルク	446	ロシア	468	ノルウェー	490	ハンガリー	490	ルクセンブルク	490	ポルトガル	492	オーストラリア	491
30	メキシコ	387	ポルトガル	466	リトアニア	486	ルクセンブルク	489	ノルウェー	489	イタリア	490	ロシア	488
31	ブラジル	334	イタリア	466	ラトビア	486	アメリカ	487	ポルトガル	487	アイスランド	488	イタリア	487
32			ギリシャ	445	スペイン	480	アイルランド	487	イタリア	485	スペイン	486	スロバキア	486
33			セルビア・モンテネグロ	437	アゼルバイジャン	476	ポルトガル	487	スペイン	484	ルクセンブルク	486	ルクセンブルク	483
34			トルコ	423	ロシア	476	スペイン	482	ロシア	482	ラトビア	482	スペイン	481
35			ウルグアイ	422	アメリカ	474	イタリア	483	スロバキア	482	マルタ※	479	リトアニア	481
36			タイ	417	クロアチア	467	ラトビア	482	アメリカ	481	リトアニア	478	ハンガリー	481
37			メキシコ	385	ポルトガル	466	リトアニア	477	リトアニア	479	ハンガリー	477	アメリカ	478
38			インドネシア	360	イタリア	462	ロシア	468	スウェーデン	478	スロバキア	475	ペラルーシ	472
39			チュニジア	359	ギリシャ	459	ギリシャ	466	ハンガリー	477	イスラエル	470	マルタ	472
40			ブラジル	356	イスラエル	442	クロアチア	460	クロアチア	471	アメリカ	470	クロアチア	464
41					セルビア	435	ドバイ	466	イスラエル	466	クロアチア	464	イスラエル	463
42					ウルグアイ	427	イスラエル	447	ギリシャ	453	ブエノスアイレス※	456	トルコ	454
43					トルコ	424	トルコ	445	セルビア	449	ギリシャ	454	ウクライナ※	453
44					タイ	417	セルビア	442	トルコ	448	ルーマニア※	444	ギリシャ	451
45					ルーマニア	415	アゼルバイジャン	431	ルーマニア	445	ブルガリア	441	キプロス	451
46					ブルガリア	413	ブルガリア	428	キプロス	440	キプロス	437	セルビア	448
47					チリ	411	ルーマニア	427	ブルガリア	439	アラブ首長国連邦	427	マレーシア	440
48					メキシコ	406	ウルグアイ	427	アラブ首長国連邦	434	チリ	423	アルバニア	437
49					モンテネグロ	399	チリ	421	カザフスタン	432	トルコ	420	ブルガリア	436
50					インドネシア	391	タイ	419	タイ	427	モルドバ※	420	アラブ首長国連邦	435
51					ヨルダン	384	メキシコ	419	チリ	423	ウルグアイ	418	ブルネイ	430
52					アルゼンチン	381	トリニダード・トバゴ	414	マレーシア	421	モンテネグロ	418	ルーマニア※	430
53					コロンビア	370	カザフスタン	405	メキシコ	413	トリニダード・トバゴ※	417	モンテネグロ	430
54					ブラジル	370	モンテネグロ	403	モンテネグロ	410	タイ	415	カザフスタン	423
55					チュニジア	365	アルゼンチン	388	ウルグアイ	409	アルバニア※	413	モルドバ※	421
56					カタール	318	ヨルダン	387	コスタリカ	407	メキシコ	408	バクー(アゼルバイジャン)	420
57					キルギス	311	ブラジル	386	アルバニア	394	ジョージア※	404	タイ	419
58							コロンビア	381	ブラジル	391	カタール	402	ウルグアイ	418
59							アルバニア	377	アルゼンチン	388	コスタリカ	400	チリ	417
60							チュニジア	371	チュニジア	388	レバノン※	396	カタール	414
61							インドネシア	371	ヨルダン	386	コロンビア	390	メキシコ	409
62							カタール	368	コロンビア	376	ペルー	387	ボスニア・ヘルツェゴビナ	406
63							ペルー	365	カタール	376	インドネシア※	386	コスタリカ	402
64							パナマ	360	インドネシア	375	ヨルダン※	380	ペルー	400
65							キルギス	331	ペルー	368	ブラジル	377	ヨルダン※	400
66											マケドニア※	371	ジョージア	398
67											チュニジア	367	北マケドニア※	394
68											コソボ※	362	レバノン※	393
69											アルジェリア※	360	コロンビア	391
70											ドミニカ共和国	328	ブラジル	384
71													アルゼンチン※	379
72													インドネシア	379
73													サウジアラビア※	373
74													モロッコ	368
75													コソボ	366
76													パナマ	353
77													フィリピン	353
78													ドミニカ共和国	325
	OECD平均	500	OECD平均	500	OECD平均	498	OECD平均	496	OECD平均	494	OECD平均	490	OECD平均	489

(注1)実施年の後の★は、数学的リテラシーを中心分野として重点的に調査した回を示す。

(注2)2000年調査において国際的な実施基準を満たさなかったオランダは除く。

(注3)2003年調査において国際的な実施基準を満たさなかったイギリスは除く。

(注4)2015年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったアルゼンチン、カザフスタン、マレーシアは除く。

(注5)2018年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったベトナムは除く。

国名	OECD加盟国
国名	非OECD加盟国
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

【参考】PISA調査 科学的リテラシー国際比較(全79か国・地域)

	2000年	得点	2003年	得点	2006年★	得点	2009年	得点	2012年	得点	2015年★	得点	2018年	得点
1	韓国	552	フィンランド	548	フィンランド	563	上海	575	上海	580	シンガポール	556	北京・上海・江蘇・浙江	590
2	日本	550	日本	548	香港	542	フィンランド	554	香港	555	日本	538	シンガポール	551
3	フィンランド	538	香港	539	カナダ	534	香港	549	シンガポール	551	エストニア	534	マカオ	544
4	イギリス	532	韓国	538	台湾	532	シンガポール	542	日本	547	台湾	532	エストニア	530
5	カナダ	529	リヒテンシュタイン	525	エストニア	531	日本	539	フィンランド	545	フィンランド	531	日本	529
6	ニュージーランド	528	オーストラリア	525	日本	531	韓国	538	エストニア	541	マカオ	529	フィンランド	522
7	オーストラリア	528	マカオ	525	ニュージーランド	530	ニュージーランド	532	韓国	538	カナダ	528	韓国	519
8	オーストラリア	519	オランダ	524	オーストラリア	527	カナダ	529	ベトナム	528	ベトナム※	528	カナダ	518
9	アイルランド	513	チェコ	523	オランダ	525	エストニア	528	ポーランド	526	香港	523	香港	517
10	スウェーデン	512	ニュージーランド	521	リヒテンシュタイン	522	オーストラリア	527	カナダ	525	北京・上海・江蘇・広東	518	台湾	516
11	チェコ	511	カナダ	519	韓国	522	オランダ	522	リヒテンシュタイン	525	韓国	516	ポーランド	511
12	フランス	500	スイス	513	スロベニア	519	台湾	520	ドイツ	524	ニュージーランド	513	ニュージーランド	508
13	ノルウェー	500	フランス	511	ドイツ	516	ドイツ	520	台湾	523	スロベニア	513	スロベニア	507
14	アメリカ	499	ベルギー	509	イギリス	515	リヒテンシュタイン	520	オランダ	522	オーストラリア	510	イギリス	505
15	ハンガリー	496	スウェーデン	506	チェコ	513	スイス	517	アイルランド	522	イギリス	509	オランダ	503
16	アイスランド	496	アイルランド	505	スイス	512	イギリス	514	オーストラリア	521	ドイツ	509	ドイツ	503
17	ベルギー	496	ハンガリー	503	マカオ	511	スロベニア	512	マカオ	521	オランダ	509	オーストラリア	503
18	スイス	496	ドイツ	502	オーストラリア	511	マカオ	511	ニュージーランド	516	スイス	506	アメリカ	502
19	スペイン	491	ポーランド	498	ベルギー	510	ポーランド	508	スイス	515	アイルランド	503	スウェーデン	499
20	ドイツ	487	スロバキア	495	アイルランド	508	アイルランド	508	スロベニア	514	ベルギー	502	ベルギー	499
21	ポーランド	483	アイスランド	495	ハンガリー	504	ベルギー	507	イギリス	514	デンマーク	502	チェコ	497
22	デンマーク	481	アメリカ	491	スウェーデン	503	ハンガリー	503	チェコ	508	ポーランド	501	アイルランド	496
23	イタリア	478	オーストラリア	491	ポーランド	498	アメリカ	506	オーストラリア	502	ポルトガル	501	スイス	495
24	リヒテンシュタイン	476	ロシア	489	デンマーク	496	チェコ	500	ベルギー	505	ノルウェー	498	フランス	493
25	ギリシャ	461	ラトビア	489	フランス	495	ノルウェー	500	ラトビア	502	アメリカ	496	デンマーク	493
26	ロシア	460	スペイン	487	クロアチア	493	デンマーク	499	フランス	499	オーストラリア	495	ポルトガル	492
27	ラトビア	460	イタリア	486	アイスランド	491	フランス	498	デンマーク	498	フランス	495	ノルウェー	490
28	ポルトガル	459	ノルウェー	484	ラトビア	490	アイスランド	496	アメリカ	497	スウェーデン	493	オーストラリア	490
29	ルクセンブルク	443	ルクセンブルク	483	アメリカ	489	スウェーデン	495	スペイン	496	チェコ	493	ラトビア	487
30	メキシコ	422	ギリシャ	481	スロバキア	488	オーストラリア	494	リトアニア	496	スペイン	493	スペイン	483
31	ブラジル	375	デンマーク	475	スペイン	488	ラトビア	494	ノルウェー	495	ラトビア	490	リトアニア	482
32			ポルトガル	468	リトアニア	488	ポルトガル	493	ハンガリー	494	ロシア	487	ハンガリー	481
33			ウルグアイ	438	ノルウェー	487	リトアニア	491	イタリア	494	ルクセンブルク	483	ロシア	477
34			セルビア・モンテネグロ	436	ルクセンブルク	486	スロバキア	490	クロアチア	491	イタリア	481	ルクセンブルク	478
35			トルコ	434	ロシア	479	イタリア	489	ルクセンブルク	491	ハンガリー	477	アイスランド	475
36			タイ	429	イタリア	475	スペイン	488	ポルトガル	489	リトアニア	475	クロアチア	472
37			メキシコ	405	ポルトガル	474	クロアチア	486	ロシア	486	クロアチア	475	ベラルーシ	471
38			インドネシア	395	ギリシャ	473	ルクセンブルク	485	スウェーデン	485	ブルネス・アイレス※	475	ウクライナ※	469
39			ブラジル	390	イスラエル	454	ロシア	478	アイスランド	478	アイスランド	473	トルコ	468
40			チュニジア	385	チリ	438	ギリシャ	470	スロバキア	471	イスラエル	467	イタリア	468
41			セルビア	436	ドバイ	466	イスラエル	470	マルタ※	465	スロバキア	465	スロバキア	464
42			ブルガリア	434	イスラエル	455	ギリシャ	467	スロバキア	467	スロバキア	461	イスラエル	462
43			ウルグアイ	428	トルコ	454	トルコ	463	ギリシャ	463	ギリシャ	455	マルタ	457
44			トルコ	424	チリ	447	アラブ首長国連邦	448	チリ	447	チリ	447	ギリシャ	452
45			ヨルダン	422	セルビア	443	ブルガリア	446	ブルガリア	446	ブルガリア	446	チリ	444
46			タイ	421	ブルガリア	439	チリ	445	アラブ首長国連邦	445	アラブ首長国連邦	437	セルビア	440
47			ルーマニア	418	ルーマニア	428	セルビア	445	ウルグアイ	445	ウルグアイ	435	キプロス	439
48			モンテネグロ	412	ウルグアイ	427	タイ	444	ルーマニア※	444	ルーマニア※	435	マレーシア	438
49			メキシコ	410	タイ	425	ルーマニア	439	キプロス	439	キプロス	433	アラブ首長国連邦	434
50			インドネシア	393	メキシコ	416	キプロス	438	モルドバ※	438	モルドバ※	428	フルネイ	431
51			アルゼンチン	391	ヨルダン	415	コスタリカ	429	アルバニア※	429	アルバニア※	427	ヨルダン※	429
52			ブラジル	390	トリニダード・トバゴ	410	カザフスタン	425	トルコ	425	トルコ	425	モルドバ※	428
53			コロンビア	388	ブラジル	405	マレーシア	420	トリニダード・トバゴ※	420	トリニダード・トバゴ※	425	タイ	426
54			チュニジア	386	コロンビア	402	ウルグアイ	416	タイ	416	タイ	421	ウルグアイ	426
55			アゼルバイジャン	382	モンテネグロ	401	メキシコ	415	コスタリカ	415	コスタリカ	420	ルーマニア※	426
56			カタール	349	アルゼンチン	401	モンテネグロ	410	カタール	410	カタール	418	ブルガリア	424
57			キルギス	322	チュニジア	401	ヨルダン	409	ヨルダン	409	ヨルダン	416	メキシコ	419
58					カザフスタン	400	アルゼンチン	406	メキシコ	406	メキシコ	416	カタール	419
59					アルバニア	391	ブラジル	405	モンテネグロ	405	モンテネグロ	411	アルバニア	417
60					インドネシア	383	コロンビア	399	ジョージア※	411	ジョージア※	411	コスタリカ	416
61					カタール	379	チュニジア	398	ヨルダン※	398	ヨルダン※	409	モンテネグロ	415
62					パナマ	376	アルバニア	397	インドネシア※	397	インドネシア※	403	コロンビア	413
63					アゼルバイジャン	373	カタール	384	ブラジル	384	ブラジル	401	北マケドニア※	413
64					ペルー	369	インドネシア	382	ペルー	382	ペルー	401	ペルー	404
65					キルギス	330	ペルー	373	レバノン※	386	レバノン※	386	アルゼンチン※	404
66									チュニジア	386	チュニジア	386	ブラジル	404
67									マケドニア※	384	マケドニア※	384	ボスニア・ヘルツェゴビナ	398
68									コソボ※	378	コソボ※	378	バクー(アゼルバイジャン)	398
69									アルジェリア※	376	アルジェリア※	376	カザフスタン	397
70									ドミニカ共和国	332	ドミニカ共和国	332	インドネシア	396
71													サウジアラビア※	386
72													レバノン※	384
73													ジョージア	383
74													モロッコ	377
75													コンボ	365
76													パナマ	365
77													フィリピン	357
78													ドミニカ共和国	336
	OECD平均	500	OECD平均	500	OECD平均	500	OECD平均	501	OECD平均	501	OECD平均	493	OECD平均	489

(注1) 実施年の後の★は、科学的リテラシーを中心分野として重点的に調査した国を示す。

(注2) 2000年調査において国際的な実施基準を満たさなかったオランダは除く。

(注3) 2003年調査において国際的な実施基準を満たさなかったイギリスは除く。

(注4) 2015年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったアルゼンチン、カザフスタン、マレーシアは除く。

(注5) 2018年調査において、※は、コンピュータ使用型調査の実施ではなく、筆記型調査で実施した国を示す。また、国際基準を満たさなかったベトナムは除く。

国名	OECD加盟国
国名	非OECD加盟国
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

調査概要

- 義務教育修了段階の15歳の生徒が持っている知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測ることを目的とした調査。
- 読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野について、2000年以降、3年ごとに調査実施。各回で3分野のうちの1分野を順番に中心分野として重点的に調査。
- 同じ調査問題を長期間使用することで得点の経年変化を見るため、問題は非公開(中心分野の一部のみ公開)。
- 各分野の問題の組合せが異なる複数の問題フォーム(2018年調査は36種類)を使用。各生徒はそのうち1種類の問題フォームに2時間で解答。
- 2015年調査より、筆記型調査からコンピュータ使用型調査に移行。
- 調査結果の示し方: 中心分野として実施した最初の年(読解力は2000年、数学的リテラシーは2003年、科学的リテラシーは2006年)のOECD加盟国平均得点を基準値(500点)とし、異なる実施年の結果が比較できるよう調整し、各国・各年の平均得点を算出。なお、平均得点を比較する場合は、数値の差を見るだけでなく、統計的に意味のある差(有意差)の有無の確認が重要。

2018年調査

- ◆中心分野は、読解力。読解力の習熟度の測定の精度を高めるために、生徒の解答状況により自動的に難易度の異なる出題をする「多段階適応型テスト」と「読みの流暢性」を把握する問題を導入。
- ◆79か国・地域から約60万人が参加。我が国では、全国の高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校の1年生のうち、国際的な規定に基づき抽出された183校、約6100人が調査に参加(2018年6月から8月に実施)。

主要分野の定義

◆読解力

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

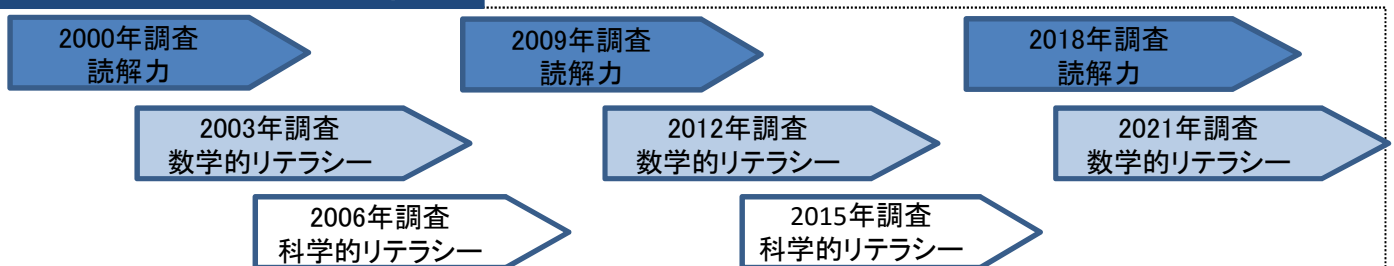
◆数学的リテラシー

様々な文脈の中で数学的に定式化し、数学を活用し、解釈する個人の能力。それには、数学的に推論することや、数学的な概念・手順・事実・ツールを使って事象を記述し、説明し、予測することを含む。この能力は、個人が現実世界において数学が果たす役割を認識したり、十分な根拠に基づいて建設的で積極的、思慮深く判断・意思決定したりする助けとなるもの。

◆科学的リテラシー

科学的な考えを持ち、科学に関連する諸問題に関与する能力として、「現象を科学的に説明すること」、「科学的探究を評価して計画すること」、「データと証拠を科学的に解釈すること」。

PISA調査の中心分野



PISA調査に関する情報

- ☞ 国立教育政策研究所編『生きるための知識と技能①～③』(ぎょうせい)、『生きるための知識と技能4～7』(明石書店)
- ☞ Webページ
 - ・国立教育政策研究所 (<http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/>)
 - ・OECD (<http://www.oecd.org/pisa/>)